

【北大路中学校生徒作品】 令和六年度

【1年生】

- 1 ・夏祭り君が映ったラムネ瓶
- 2 ・りんごあめうちわ片手に丸かじり
- 3 ・年末だみんなに言うよよいお年を
- 4 ・夏休み宿題おとしせわない
- 5 ・かさの中ぼくのとなりで笑う君
- 6 ・森の中虫を探すよ小さな子
- 7 ・夏の空太陽あかくほほあかき
- 8 ・帰り道明日から長そで風の音
- 9 ・そうめんは初夏はおいしい晩夏は飽きる
- 10 ・帰り道夏の風が木を揺らす
- 11 ・さようならこの一年にふたをする
- 12 ・ぬれる服火の花散る夏散る想い
- 13 ・別れ時思い出たくさんよみがえる
- 14 ・黒い腕額を通り光る水
- 15 ・空を見てようかん食べてセミが鳴く
- 16 ・不安心明日の光へ葉桜と
- 17 ・大津市は松尾芭蕉の愛した地
- 18 ・夏終わりすこしさみしく鳴くかえる
- 19 ・暗い夜水辺で光る星のよう
- 20 ・夏休み色々やばい終わつたは
- 21 ・カレンダーめくって見たらなにもない
- 22 ・大会後一人の部屋で濡らす枕
- 23 ・夏祭り祖母を思い出すあの火花
- 24 ・秋近し涼味感じて唇を噛む
- 25 ・もう終わり涙と重なる散り桜
- 26 ・夏の雨空を見上げて虹秀麗
- 27 ・えんぴつのかくおとひびくきようしつに
- 28 ・雲の上空にひろがる星の川
- 29 ・スイカ割りお昼下りのお楽しみ
- 30 ・夏になり溶岩みんな吹き出すよ
- 31 ・北大路森の近くにいいながめ

大竹野	上田	伊藤	阿部	石田	吉田	吉田	山根	山田	山上	森山	村田	松本	本多	本城	堀川	野間	西村	中河	土井	筒井	田中	杉山	日下部	柏木	梶間	奥野	奥田	小川	大貫	内山
裕哉	瑛太	詩花	啓人	愛蘭	心澄	匠吾	愛理	遙己	遙斗	結理耶	颯助	千歩梨	芽衣耶	弥生	栗	璃碧	凌	太希	志織	菜々緒	健登	菜々子	琴乃	旭燈	健騎	結羽	光之助	航明	瑚乃	夏音
6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3

- ・また出たか虫除け片手に大乱闘
- ・暑い中コンマをつけずにコンマちゃう
- ・私の暮れもみじと夕日が暖かい
- ・青空に羽ばたく時がやってきた
- ・夏の朝心地よい風で目が覚める
- ・霞時空から涙降り注ぐ
- ・この時間終わり始めるカウントダウン
- ・目にうつる一本の映画の物語
- ・夏の海輝く思い出きらきらと
- ・涼しい夜に子どもが来る夏祭り
- ・夏の日にスイカを食べておいしいな
- ・せみのこえミンミンミンとうるさいぞ
- ・暑い日にプールに入り気持ちいい
- ・日の光夏を感じるせみの声
- ・夏の空空に轟く星の華
- ・夏来るしふたつの意味であつくるしい
- ・夏の虫カブトムシ活動復帰
- ・日がてらし森の緑がこくでてる
- ・一吹きでホールに響く音色かな
- ・帰り道のびる背中を追いかける
- ・夏は暑いエアコンきいてるすずしいな
- ・下見ると赤いじゅうたんフカフカだ
- ・夏が来た空はわたあめ屋根に行く
- ・血を吸われ蚊取り線香意味がない
- ・窓の外セミの鳴く声響く空
- ・いつのひかセミ声ひびく季節くる
- ・入学式ピンク色の花ふぶき
- ・ほぼ毎日虫のアラームで起こされる
- ・涼しげなガラスの響く夏の音
- ・せまりくる最終日という終わりの壁
- ・いつぶりだそうめんいがいの昼ごはん
- ・はたらいて私の頭夏の日も
- ・青春桜の下でツーショット

大道	曾根	杉浦	迫	小藤	大竹野	太田	上田	上田	上川	井尾	安藝	外菌	振角	藤田	服部	嶋山	橋倉	西	谷口	竹山	須佐見	佐野	坂辻	酒井	梶原	梶原	奥野	奥田	岡村	岡田	大貫	大貫
唯	名央	壺幸	和希	颯詩	晴哉	結芽	翔太	瑛太	心花	聡佑	愛海	一真	美帆	凜子	夕輝	太良1	湊人	彩花	奈々子	優志	壮生	友咲	杏莉	南帆	建志	和	哲平	雄貴	直希	拓朗	愉海	莉乃

- 6 5 ・夏の森友達ふくめてきもだめし
- 6 6 ・あついなつまいにちあせがたきのよう
- 6 7 ・冬休みいちど起きるがでられない
- 6 8 ・寝室にチリンと聞こえる夏の音
- 6 9 ・見上げると夜空に花が咲きほこる
- 7 0 ・蝉の声熱い日差しを見てみたい
- 7 1 ・夏休み宿題サボりすぎ遊び
- 7 2 ・夏休みアイスと溶けた時間
- 7 3 ・夏休み気づけば残り一日だ
- 7 4 ・ビー玉が出そうでないラムネかな
- 7 5 ・帰り道熱雷響く夕まぐれ
- 7 6 ・セミなくなしずかな夜にパリピおる
- 7 7 ・窓のそばあなたの目にはひつじ雲
- 7 8 ・背番号自分の夢の第一歩
- 7 9 ・夏の風風鈴がチリン夏を感じる
- 8 0 ・夏休み家族で旅行楽しいな
- 8 1 ・雨が降り増水がおき水が染まる
- 8 2 ・雪がやみセミの季節がやってくる
- 8 3 ・眠る僕セミの鳴き声朝気づく
- 8 4 ・夏休み宿題多き大変だ
- 8 5 ・梅雨が明け熱くなる頃には花火の音が
- 8 6 ・雨の降るかわいさましてとぶカエル
- 8 7 ・ポート見る涼しさしみる川の水
- 8 8 ・数学は方程式が難しい
- 8 9 ・テストとか国数英はすてたのよ
- 9 0 ・夏祭りビー玉目当てに飲むラムネ
- 9 1 ・国語のね漢字の範囲むずすぎる
- 9 2 ・アジサイはかわいらしいね私みたい
- 9 3 ・笑顔にはすてきな思いかくれている
- 9 4 ・先生が黒板に書きたい短歌
- 9 5 ・雨あがり空を見れば青空ひろがる
- 9 6 ・近江の地太子堂から一望だ
- 9 7 ・幻住庵あたる木もれ日ゆれゆれる

【2年生】

- |                  |               |                  |                |                |              |                |                |                |                  |                |                |                  |             |                   |                |                 |              |                |                |                   |               |               |                |                   |                 |                |             |                |                |                |                 |    |
|------------------|---------------|------------------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|------------------|-------------|-------------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|----------------|-------------------|---------------|---------------|----------------|-------------------|-----------------|----------------|-------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----|
| 三井               | 弘田            | 初田               | 仁張             | 豊原             | 寺井           | 田崎             | 塩見             | 佐々木            | 小西               | 國松             | 草野             | 木下               | 甲斐          | 岡垣                | 大塚             | 岩城              | 井上           | 脇野             | 吉田             | 吉岡                | 山本            | 山田            | 三輪             | 宮本                | 堀切              | 西堀             | 西澤          | 中田             | 戸田             | 寺田             | 谷               | 竹内 |
| 理央               | 大和            | 希                | 陽斗             | 莉乃             | さつき          | 青蓮             | 健介             | 大和             | 彩音               | 百々花            | 柚奈             | 珠菜               | 宗祐          | 尚希                | 碧              | 佑介              | 琉伊           | 樹              | 哩久             | 茉莉                | 悠生            | 菜緒            | 惺也             | 愛翔                | あいか             | 泰司             | 玲愛          | 秋音             | 結里             | 心              | 歩真              |    |
| 1 2 9            | 1 2 8         | 1 2 7            | 1 2 6          | 1 2 5          | 1 2 4        | 1 2 3          | 1 2 2          | 1 2 1          | 1 2 0            | 1 1 9          | 1 1 8          | 1 1 7            | 1 1 6       | 1 1 5             | 1 1 4          | 1 1 3           | 1 1 2        | 1 1 1          | 1 1 0          | 1 0 9             | 1 0 8         | 1 0 7         | 1 0 6          | 1 0 5             | 1 0 4           | 1 0 3          | 1 0 2       | 1 0 1          | 1 0 0          | 9 9            | 9 8             |    |
| ・勉強で点数上がってやる気でした | ・白い息冬を感じるひと時だ | ・セミの声朝からうるさい夏が来た | ・火花が黒の画用紙はみだした | ・夏の夜空きらきら光る天の川 | ・風鈴の空は紅麗しきかな | ・雪が降る冷たいけど悪くない | ・夏の海辺君と笑い合う青春だ | ・とつてもイケメン会いたいな | ・雨によりきれいに輝くあじさいが | ・辛いとき思い出すのは君の顔 | ・俳句かく思いつかない大変だ | ・キラキラと夜にかがやく星たちよ | ・夏の夜北斗七星輝いて | ・極暑の日「さあとびこむぞ」青い海 | ・僕達は本能により生かされる | ・ゆかた着て夏来る季節夏まつり | ・夏の夜空に花咲き心奪う | ・光る花雨うたれるあじさいか | ・浴衣着て空を見上げる夏祭り | ・食べたいなおいしいお肉腹いっぱい | ・少子化子どもの姿見たいな | ・夏休み祭に花火たのしみだ | ・移動中外景色見て学ぶべき物 | ・べつそうに行ってみたいな楽しそう | ・課題する言い続けてはや一週間 | ・火花の彩金魚の袋に鮮やかに | ・夏休み石山夜市かき氷 | ・日に負けず優勝めざす陸上部 | ・風鈴が頬を撫でては肩落ちる | ・毎日がみんなにこにこ夏休み | ・雨が降る夏の始まりポツポツと |    |
| 古賀               | 木下            | 北村               | 北川             | 片山             | 宇野           | 飯塚             | 渡辺             | 八幡             | 森田               | 美濃部            | 光成             | 松原               | 松田          | 本郷                | 古川             | 藤下              | 福家           | 羽織屋            | 野中             | 竹内                | 高山            | 鈴木            | 島本             | 甲斐                | 稲葉              | 荒川             | 松本          | 吉田             | 山口             | 矢野             | 森               |    |
| 令風               | 空             | 紗悠               | はな葉            | 朝陽             | 花梨           | 伶奈             | 楓恋             | 愛子             | 明花               | 海翔             | 泰誠             | 悠希               | 悠           | 翔太                | 結衣             | 菜紘              | 冬華           | 葵              | 琉真             | 宗大                | 葵依            | 優弥            | 花音             | 史泰                | 楓香              | 佳夢             | 心恵          | 瑠菜             | 姫菜             | 結花             |                 |    |

130	・夏の夜かとりせんこううずをまく	小林	美玲	162	・めんどくさなつの部活はしんどいな	吉岡	隼翔
131	・虫の音がますます夏が嫌になる	高橋	櫻生	163	・沖縄でカラフルお魚きれいな海	岡	笑梨
132	・夏の日のアイスはやっぱり最高だ	武内	心花	164	・クロールでゴール目指し特訓だ	後藤	奏
133	・皆集いアイス頬張る青春の日々	藤堂	正樹	165	・夏の朝サイダー飲んで爽快だ	浅川	瞬生
134	・夏にかぶ大きな空にドカーン美しい夜空	土橋	菜々美	166	・夏の日のあと一杯を惜しみ飲む	稲葉	あまね
135	・梅雨の日の洗濯物は乾かない	中西	悠斗	167	・夏の夜夜空を見上げて星を見る	今田	篤仁
136	・鹿威し小風なびき静かな波	長谷川	翼	168	・雪ふぶく最後の砦陥落す	奥迫	煌我
137	・下り坂自転車切り裂く夏の風	服部	慶大	169	・夏祭りどれ食べようか甘い毘	加藤	涼菜
138	・梅雨の日々雨がザーザーびしょぬれだ	樋口	莉花	170	・炎天下麦茶飲み干す暑さかな	川井	梨央奈
139	・夏休み課題おわらず大あせり	平井	美虹	171	・夕焼けと祖父の目線に時来たる	北村	啓太
140	・夕暮れのきれいでずいずい秋の風	堀	悠真	172	・夏蜜柑酸味はじめてしみる口	小池	優菜
141	・プールの音太陽の下キラキラと	松井	珀愛	173	・夏祭り彼女の浴衣一目惚れ	四宮	光之助
142	・なつまつりきんぎよすくいたのしみだな	南	明希姫	174	・カメラ越しあなたの姿またいいな	竹内	慶
143	・夏休み空をみつめてながれぼし	目片	瑞生	175	・夏祭り彼女の影追いかける	竹内	徠牙
144	・ミンミンミンアイス食べたい学校帰り	山口	芽唯	176	・緑映え心涼むや夏の川	武田	一慶
145	・梅雨終わり空一面に青い空	青山	雪鈴	177	・雪とけて町いっばいの笑い声	田中	乙葉
146	・公園で走る子供の汗光る	井ノ原	愛彩	178	・夜に咲く水面にうつる夏の花	中道	勝太
147	・夏祭り夜空にきれいな火花咲く	今井	優里	179	・火花の煌めき落ちる儚げな	西村	穂乃花
148	・大津にて芭蕉も見たかこの湖を	上田	圭悟	180	・宵闇に唯ひとつある光る月	原田	夏弥
149	・日に焼いてくつ下ぬいでもはいている	小茂田	実愛	181	・秋を待つ期待と焦燥烏兔匆匆	日比野	楓加
150	・雨上がりアジサイながめてひと休み	櫻井	優也	182	・夏祭りサイダー通して見える君	藤崎	瑛大
151	・テスト前雨は降ったが晴点なり	高原	芽衣	183	・夏祭り彼女のいない僕ひとり	南村	巧
152	・これからね夏が始まる鈴の音	田鍋	玲果	184	・渡り鳥一羽となつて帰りけり	矢野	匠真
153	・夏になりしめった風くる梅雨の雨	藤田	翔晴	185	・浴衣着て火花見ること最高だ	山中	梨乃
154	・梅雨の時期じめじめしてて気持ち悪	船富	遥斗	186	・朝顔の開花は朝に一度だけ	山藤	美音
155	・夏の夜空を彩どる火花咲く	増田	仁心	187	・蝉の命抜け殻の先一週間	横道	春花
156	・部活動最後の試合涙のむ	松田	航	188	・まだ遠い初夏の日々はまだ長い	吉岡	輝一
157	・明日こそは何がおこるか分からない	村上	涼	189	・盛り上がる熱い青春甲子園	高田	功規
158	・杪冬に溶け出した雪小さな春	村田	仁奈	190	・夜空には一面に咲く大火花	飯原	輝明
159	・掛声で想い繋げそのボール	山口	心乃	191	・夏休み遊び三昧魚釣り	石川	仙乃助
160	・夏の時期部活の練習暑苦しい	山下	正慶	192	・幻住庵自然あふれる山の中	和泉	夢姫
161	・夏が来る楽しみ多いなにしてよう	山本	ゆきの	193	・夜の空一筋光る流れ星	井上	翔將
				194	・しゅわしゅわとあふれる思い出夏の味	宇仁	くるみ

【3年生】

195 ・雨あがり虹の架け橋新たな日  
 196 ・なつかしき実家へ帰る夏休み  
 197 ・梅雨明けて空を映した水たまり  
 198 ・夏季総体自分たち最後の晴れ舞台  
 199 ・松葉杖最後の夏を共にする  
 200 ・駅前芭蕉はいつも人氣者  
 201 ・サンサンと光る太陽映える海  
 202 ・青春をすべてそそいだ甲子園  
 203 ・秋分の夜空輝く月夜かな  
 204 ・夏の夜打ちあげ花火さきほこる  
 205 ・時が過ぎ価値感変わり人変わる  
 206 ・夏の朝ウグイスが鳴くいい気持ち  
 207 ・年越しは友達みんなで大ジャンプ  
 208 ・大晦日みんなそわそわあと一分  
 209 ・空は星短夜に響く虫の歌  
 210 ・歓声や涙あふれる甲子園  
 211 ・暗い夜花火が散って夏終わり  
 212 ・盛夏の夜浜辺みんな線香花火  
 213 ・夜空に渡る影あり天の川  
 214 ・夜の空花火打ち上げ咲き誇る  
 215 ・太陽に笑いかけてる向日葵かな  
 216 ・プールで練習海で泳いで遠くへ行く  
 217 ・宝石が夜空一面夏まつり  
 218 ・花火見るフリして見ている君のこと  
 219 ・夏祭り長く思える通学路  
 220 ・夏の空浮かぶわたあめおいしそう  
 221 ・耳元で風鈴の音心地よい  
 222 ・炎天下掛け声響くグラウンド  
 223 ・夢破れ涙零れる甲子園  
 224 ・白南風やデジカメに写る松尾像  
 225 ・青春の思い出巡るライラック  
 226 ・夕焼けのグラウンドには梅雨のあと  
 227 ・サングラス外して見える青い海

大竹野 旬助  
 大塚 拓己  
 岡本 理莉子  
 加藤 杏菜  
 河井 悠成  
 北田 優  
 木下 優輝  
 木村 駿斗  
 鯉迫 蒼多  
 齋藤 逞  
 清水 真希  
 寺田 源  
 中河 希愛  
 永喜 望愛  
 平井 陸翔  
 平田 大輔  
 堀江 宇宙  
 松田 芽吹  
 目片 奏佑  
 山田 優茉  
 吉田 花奏  
 尾崎 英士  
 辻 夏鈴  
 池田 健人  
 今里 遙希  
 井本 心結  
 上田 陽愛  
 大久保 憲伸  
 岡本 航  
 奥迫 琉我  
 金澤 聡太  
 久野 颯悟  
 小島 萌愛

228 ・夏の空風鈴響く青と夏  
 229 ・見上げればきれいな桜と君の背中  
 230 ・道端の菜の花見ればまた明日  
 231 ・夏雲見上げてかきこむ梅茶漬  
 232 ・君と見る打ち上げ花火夜の空  
 233 ・晴天の空鳴り響くセミの声  
 234 ・ふと見上げ空を彩り花火散る  
 235 ・教室が白いシャツへと染まってく  
 236 ・夏祭りあいつを随とす攻略戦  
 237 ・爽天のダイヤモンドダスト君映す  
 238 ・ゆかた着て彼とならんで歩くなつまつり  
 239 ・猛暑日に汗流して走り抜く  
 240 ・夏祭り君思い着た藍浴衣  
 241 ・冬の朝おこたあたるかじけ猫  
 242 ・のぞきこむ父の手の中ほたるの光  
 243 ・授業中窓越しに見る水しぶき  
 244 ・紅葉の葉赤く色つき秋告げる  
 245 ・夏空に光輝き響く花  
 246 ・昼眠妹扇ぐ暑い日に  
 247 ・夏の夜空にひびく虹の花  
 248 ・オレンジが空に浮かぶ夏の宵  
 249 ・TakeYourMarks あと一秒にかけた夏  
 250 ・いつの間に白紙のワークと最終日  
 251 ・黒光る太陽の下サングラス  
 252 ・暑い日に川に飛び込む最高だ  
 253 ・めずらしく割と本気で挑む夏  
 254 ・目が覚めた明け方響くせみの声  
 255 ・風鈴と暑さを凌ぐ夏の風  
 256 ・夏の空見上げて感じる夏めいた  
 257 ・晩夏の候山に逃さる雲の峰  
 258 ・夏休み木漏れ日の下眩しけれ  
 259 ・ゆく夏の線香花火揺れ落ちる  
 260 ・おぼろ月夜空にうつる君の顔

坂辻 映斗  
 将野 純輝  
 伊達 光絆  
 徳谷 春  
 直一 陸  
 中原 憲二  
 夏見 怜奈  
 鍋島 彩汰  
 本多 由梨弥  
 三浦 一哲  
 美濃部 明菜  
 村雲 俊介  
 目片 結愛  
 赤堀 世波  
 井田 瑞希  
 大橋 海土  
 岡田 圭祐4  
 岡田 麻央  
 尾崎 真優  
 柏木 七葵  
 梶原 真帆  
 河原 綾音  
 黒田 穂々佳  
 清水 翔太  
 杉山 祐樹  
 高島 ころ  
 只野 健琉  
 伊達 天絆  
 田中 悠太郎  
 寺山 陸斗  
 中川 朋香  
 萩原 真鷹  
 初田 怜

261	・風鈴や夏風にのりリンリンと	林	桂祐
262	・待ちにけり澄んだ海へと落ちていく	馬場	一真
263	・夏休み気づいた時は褐色だ	藤澤	拓磨
264	・夕風や風に包まれ虚しさよ	前原	智宙
265	・セミの声響きわたるグラウンド	吉岡	優希
266	・冬の日に雪合戦を楽しもう	船崎	愛実
267	・友達と面白いっばい夏休み	山口	陽葵
268	・夏の夜流れ星見て長い事	山藤	玲那

【1年生】

投句者数 晴嵐小学校137人・北大路中学校268人・栗津中学校525人  
 合計930人

- ③ 俳句の基本とは、季語、十七音、切れ字が適切に表現されているか。  
④ 特に、季語の季節感が共感できるか。

(天津市俳句連盟 七里 源一)

今年も皆さんの作品を拝見できて嬉しく思っています。芭蕉翁は「俳句は子供にさせなさい」と言っています。これは見たものや感じた事を素直に詠みなさいと教えているのですが、今年の作品も大人の作品と異なり、素直に詠まれた作品ばかりで選ぶのに苦労しました。「つ気になったのは季語を通じて季節の変化に興味を持っていただければ嬉しく思います。そして、来年も皆さんの作品を拝見できることを楽しみにしています。

今日は北大路中学校、粟津中学校の二校から多くの投句を頂き有難うございました。「俳句は日記」というのが私の信条ですが、作品には皆さんの日常が素直に詠まれており楽しく拝見しました。選をするにあたり私は次の事にポイントとしています。何が言いたいのか、焦点が無いものや複数あるものは除外させて頂きました。俳句を作ることは難しい事ではありません。見たことや体験したこと自分の思いを少し加えることで良い句が生まれます。来年はどのような作品が出されるか楽しみにしております。

(幻住庵翠微句会 小菅 信一)

### 【選者感想】

小学生の皆さんの作品を読んで、日々の生活の中でのナイーブさを感じ、それを俳句として表現しようとする努力が感じられました。俳句作品としてはもう少しパンチが欲しいところですが、選句の観点は次のとおりです。

- ① 小学生生活に即したみずみずしい一句であること。  
② 俳句の基本ができているか。  
③ 季語、十七音、切れ字の三点です。  
④ 特に季語の季節感が共感できるか。  
中学生諸君の作品を読んでみて、日々の中学生生活がどのような内容で、何に感動し、俳句として表現したのかについて、その軌跡を読みとることができました。特に北大路の一年生諸君の句は、ナイーブな表現で良かったのですが、俳句作品として選句した場合は次のような基準を設定。  
① 中学生生活に密着したみずみずしい一句であること。  
② 俳句の基本に忠実であること。

それぞれ個々の感性・表現に感動致しました。優劣付け難く、心がとても痛みました。ありがとうございました。

(日本伝統俳句協会 尾崎 恵子)

小学生の皆さんの句を楽しみました。きらきらした夏の思い出が一杯詰まった作品が沢山見受けられ感心しました。今年の夏は特に厳しく熱中症になる程危険な暑さでした。そんな中皆さんは各々の夏を上手に表現した作品が多く選句する事にも悩み絞り込むのに苦労しました。俳句は五七五の短い中に自分の感じた事を読む人にどう伝えるか、その中に表現する個性があるのが大事な事だと思います。

これからも皆さんの生活の中で俳句に触れる事がきつと生活を豊かにしてくれるものだと思います。

今年はパリオリンピックで盛り上がり、暑さもより厳しい年となりました。今年の作品は、栗津中学の皆さんの参加も有り多くの句が寄せられました。全体の傾向として、しっかり季語を使われ句が多い様でした。

皆さんの体験された夏の思い出や感動が良く現された事や伝えたい事を表現するのに適した文学です。中学校になると受験や部活動で大変な時期とありますが、時には今回の様に俳句に接して自分を見つめ直す時間、他人や俳人の詠んだ作品に触れる事も大事な事と思います。

(現代俳句協会 松村 克彦)

晴嵐小六年、栗津・北大路中学校の皆さんの句に接し選句するという一時は、真に心弾むものでした。晴嵐小六年生さんの句群は、活き活きとして素直、素朴な表現がとても新鮮で、好感を感じるものが多く、俗時、俳句の醍醐味を存分に味あわせて頂きました。中学生さんの句群は、さすが年長さん、視界の拡がりや表現語彙も一段と増し、詩情の漂う秀句が見られ感服致しました。只、小学生、中学生さん双方に感じましたことは、季重なりでないことと、この句にはこの言葉しか無いという、言葉の選択、吟味に心して欲しいということ。俳句は生を写す器です。あなたの悲喜をどんどん盛って下さい。

(幻住庵保勝会 馬場 民代)